

亀山御坊御正忌報恩講ご案内

拝啓 慈光照護の下皆様にはいよいよ
ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて 来る一月十三日より十六日まで
聖人の御正忌を勤めさせて載きます。
人の一生は娑婆での修行。娑婆の迷い
から浄土のさとりへ、仏様の智慧の世
界から命の本性を見抜かれた親鸞聖人
のご威徳を報恩講で偲ばせて頂きます。
この度の報恩講では、初日十三日に、
真宗文化研究会のお勤めがあります。奥
書院で抹茶の接待並びに寶物展示が
ります。

十五日には本徳寺コーラス部による仏
徳讃歌の後、午後二時から報恩講式が
勤まります。本願寺と同様に親鸞聖人
の後一生を偲ぶ式文・嘆徳文の拝読が
伝統作法に則つて修業されます。万難
をお参り下さい。

亀山御坊本徳寺

姫路市亀山 三二四
電話(三三五)〇一四二

除夜鐘 12月31日・午後11時45分から
元旦会 1月1日午前0時0分から

除夜鐘・元旦会には自由にご参加ください。

御正忌報恩講行事日程

(一月十三日～十六日)

16日	15日	14日	13日
お晨朝 日中勤行	お晨朝 日中勤行	お晨朝 日中勤行	お晨朝 二時
AM AM 七時 半	PM PM 六時	PM PM 十時	PM PM 七時半
引き続き説教 引き続き説教 引き続き説教	説教 説教 説教	説教 説教 説教	説教 説教 説教

御正忌報恩講ご案内

令和七年が終わり。悲惨な婆婆に身を置きながらも、お念佛に促されて、新しい年が始まります。思えば、娑婆に生息する私たちは、多くのものとサービスに囲まれ、多様な生き方を享受しつつも、その豊かさが実感できません。批判や言いい訳は得意ですが、己を支えている人やものの言存在に気付くことは希です。

生きていくために多くの知識と見解をもちながら、肝心の己が何ものであるかを知りません。目が先の損得には敏感ですが、事の真偽には疎いようです。

過剰な人生観「如何に生きるか」はあつても、たつた一つの死生観「如何に死ぬか」をもてないのは悲惨です。喜びや悲しみをかかえても、それを持ち者と共有することができない空しさ。
こんな閉塞社会で、人はとまどい、孤立し、不安を抱き、最後の一息まで右往左往して骨になつていきます。

人と自然が対立し、己と他者とが分断され、生きることと死ぬことが乖離したことと死ぬこと死出離の一大事を親鸞聖人の生き方から学ぶことは何よりも大切なことです。

年頭より、親鸞聖人の報恩講を厳修いたします。とりわけ十五日（木曜）・午後2時の報恩講式の「私記文・嘆徳文」の拝読を頂き、聖人の婆婆での生き様を聴聞されます様ご案内申し上げます。

御正忌報恩講行事日程

13 日	往生礼讃	PM PM	一時	お説教
14 日	日中勤行	PM PM AM AM	七時半	引き続き法話
	お説教	PM PM	十時	引き続き説教
	逮夜勤行	二時		
15 日	往生礼讃	PM PM	一時	引き続き説教
	日中勤行	AM AM	七時半	引き続き法話
16 日	初夜勤行	PM PM	一時	お説教
	親鸞物語	六時		
	お説教	PM PM	七時	引き続き説教
	布教使應行寺	十時		
	門徒勤行	AM AM	七時半	引き続き説教
	真宗文化講座	七時		
	荻野至師			

布教使應行寺 荻野至師
亀山御坊 本徳寺

姫路市亀山三二四
079-235-0242